

平成30年度 第8回 高松圏域自立支援協議会 相談支援部会 報告書

日時：平成30年11月15日（木）9：30～12：00

場所：かがわ総合リハビリテーションセンター 第2研修室

1. 地域生活支援拠点事業にかかる緊急時対応プランについて

「事例を通して緊急時プラン作成の演習を行い、作成の時に大事にする視点共有しましょう」との研修が行われました。

基幹相談支援センター地域拠点も緊急時を共に協力する必要があるため、研修に参加しました。障害者生活支援センターたかまつ、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、障害者地域生活支援センターほっと、障害者相談支援センターりゅううん、地域活動支援センタークリマ、相談支援事業所ライブサポートセンター、基幹相談支援センター中核拠点。

グループに分かれてプランを作成し、話し合ったことを発表しました。

○大切なことは・・・

- ・ご本人の不安な気持ちを考えながら、思いを大切にしていくこと
- ・「緊急時」となるとどうしても視野が狭くなりがちのところだが、広い視点で考えること
- ・自宅に支援を入れるだけでなく、「子ども食堂」など居場所となるところに出かけていくという視点も
- ・緊急時になって話しにくいことを前もって話していくことは大切

・・・等の意見が出ました。

2. 情報共有等

- ・高松市障がい福祉課石原係長、就労支援部会所属のみどり園平井氏より就労定着支援事業について説明がありました。
- ・相談支援事業所 相談支援センター昭和町が開所しています。
- ・講演会のお知らせ・・・ドキュメンタリー映画「僕のうしろに道はできる」

日時：H31年1月13日(日) 場所：リハセンター

3. 事例検討（グループスーパービジョン）・・・33名の参加がありました。

今回は子どもの支援について事例の提供があり、どのような支援ができるかグループで検討しました。事例提供者からは「たくさん楽しいアイデアが出て良かった、今後の支援に活かしていきたい」との感想がありました。

次回相談支援部会 開催日について 平成30年12月20日9：30～12：00

以上